

# 情報工学科論文 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X テンプレート (タイトル) ーサブタイトルー

〇〇研究室 豊田 高専

あらまし これは豊田高専情報工学科の卒業論文用 L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X テンプレートです。提供される docx ファイルとほぼ同様の見た目になるようにフォントや文字間隔や余白などを調整しました。LuaL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 処理系の使用を想定しています。

キーワード L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X, Word, 豊田高専, 卒業論文, テンプレート

## 1. はじめに

### 1.1. 背景

豊田高専情報工学科の卒業論文は学校から提供された Word テンプレートを使って執筆することを前提としています。そのためフォントや文字間隔、余白などについて制約があり、Word 以外のツールを用いて執筆することは困難でした。そこで L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X でも執筆できるようにテンプレートを作成しました。

### 1.2. 問題点

フォントは MS 明朝が指定されていますが、これは古いだけでなく Windows に搭載されているフォントでオープンソースではありません。また、文字間隔や余白は Word 依存です。このような理由から Linux 環境で卒論を執筆することが容易ではありません。

## 2. 使用方法

まず LuaL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X をインストールします。現在は TeX Live をインストールすることが多いようです。また、「MS 明朝」と「Times New Roman」をシステムのフォントとして配置します。その後、このテンプレートをダウンロードしてコンパイルします。

## 3. コントリビュート

間違いや改善点があればコントリビュートしていただけると助かります。Issue や Pull Request 歓迎です。

## 4. 免責事項

このテンプレートを使用して生じたいかなる損害、不利益等について作者は一切の責任を負いません。自己責任でお願いします。

## 5. おわりに

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X の記述で参考にしたページを列挙しておきます。

- <https://tug.org/docs/latex/jlreq/jlreq-ja.html>
- <https://github.com/abenori/jlreq>

- <https://cns-guide.sfc.keio.ac.jp/2001/11/5/1.html>

- <https://qiita.com/Daiji256/items/29adc574b15345d8afa2>

### 文 献

- [1] 著者名, “標題”, 雑誌名, 巻, 号, pp. を付けて始めー終りのページ, 月 (英語) 年.
- [2] 著者名, “標題”, 雑誌名, 巻, 号, pp. を付けて始めー終りのページ, 月 (英語) 年.